

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年五月度 入賞句一覽 投句数 千四百五十二句

奥の細道
むすびの地



特選

説田 祐子 選

新学期互いの心開き出す

加茂郡川辺町 川崎 愛心(中三)

作者は中学三年生。中三ともなれば進路の事なども含め、いろいろ考えることも多いこと
でしょう。友達にも言おうか、どうしようかななどと。そんな中で「互いの心開き出す」とい
う言葉から、作者の友達との信頼感が伝わってきます。きつと、良い仲間関係で、中学校生
活が送れることでしょう。

ランドセルげんきにゆれる子のせなか

大垣市 榊間 葵泉(小二)

作者は、小学二年生。登校時の友達が、ランドセルがゆれるほど元気に登校していく様子
が、よく伝わってきました。元気な様子に目を向けることができる作者も、きつと元気に登校
していることでしょう。

じめじめのつゆふきとばすホームラン

大垣市 澤田 健吾(小二)

まだ、つゆの時期には入っていませんが、つゆのような日もあります。そんな中で、ホー
ムランを打つたのは作者かな、それともだれかが打ったホームランを見ていたのでしょうか。
か。どちらにしても、ホームランは気持ちのいいものです。その気持ちのよさを「つゆをふ
きとばす」と言い切っているところがすばらしいです。

秀逸

うぐいすやささやく風に色のせて

加茂郡川辺町 山口 翔大(中二)

春一番一歩踏み出す新学期

加茂郡川辺町 赤塚 亮介(中二)

ちようちよさん一年生と入学式

大垣市 佐々木 那夏(小四)

妹と桜で写真仲なおり

加茂郡川辺町 松岡 陽向(中二)

はるがきてたくさん友だちできるかな

大垣市 松井 心奈(小三)

みんなをね空から見まもるこいのぼり

大垣市 日び野 ゆき(小三)

旅だつよいつてらつしやいツバメの子

大垣市 川合 莉乃(小四)

あめあがりあおいそらにははるのじ

大垣市 梶本 菜月(小四)

待つてたよ今年もきたねつばめさん

大垣市 杉野 実咲(小四)

ひな人形いつもにこにこわらつてる

大垣市 小倉 佑斗(小四)

入選

小中学生の部

春の朝アラーム代わりの鳥の声	加茂郡川辺町	中山 竜鳳(中二)
桜の木出合いがあると云つてるよ	加茂郡川辺町	嶺川 大智(中二)
春の陽のぬくもりまるで祖父の様	加茂郡川辺町	櫻井 大也(中二)
一面のピンクのじゅうたん桜色	加茂郡川辺町	吉井 悠吉(中二)
桜色一味違う通学路	加茂郡川辺町	渡辺 かずは(中二)
風にのる桜の花びらおどりだす	加茂郡川辺町	永吉 彩愛(中三)
うぐいすは季節の訪れ持つてくる	加茂郡川辺町	大東 由依(中三)
出会いとね季節を運ぶ春風よ	加茂郡川辺町	朝日 明(中三)
初めての出会いの季節新学期	加茂郡川辺町	天池 朱花(中三)
ことしもねかえつてくるよつばめたち	大垣市	西田 直未(小二)
あめんぼがにんじやみたいにスイスイと	大垣市	岩田 悠聖(小二)
春の風せんたく物が大あばれ	大垣市	北村 有美花(小四)
つくしさんぼうしかぶつてこんにちは	大垣市	小川 千晶(小五)
たんぼぼのわたげ旅出る遠くへと	大垣市	宮川 夕奈(小五)
さくらさきひらひらゆれておどりだす	大垣市	山本 えんじ(小二)
ふじのはなぶどうみたいにさいてます	大垣市	くもん にな(小三)
つばめたちことしもきたよげんかんに	大垣市	よし村 こうすけ(小三)
桜散る花びらたちのおにごっこ	大垣市	長野 唯加(小六)
蛙たち田んぼで朝のごあいさつ	加茂郡川辺町	小田 憩(中二)
ふきのとうかおみえてきたこんにちは	大垣市	近藤 玲生(小六)

選者吟

母の日のカーネーションのより紅く

祐子

